

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10577004				
授業名	日本社会と歴史文化 D	形態	講義	単位	2
担当教員	前田 寿紀				
開講学期	2017年度 前学期	曜日・時限	水曜1限		
授業目的	<p>本授業では、文化がもっている、世代を通じて伝承される点、広範囲であること、経済・技術だけではない点、などの特色を考慮しつつ、日本が育んできた広がりのある豊かな歴史・文化を概観する。</p> <p>日本人学生は、各自が生まれ育った日本がどのような歴史・文化をもったところなのかを理解し、その中で育った自分というものを理解し、日本人としてよき文化に誇りに思えるようになりたい。受講生は、日本・日本人と外国・外国人との関係を有効にしていけるよう、日本の歴史・文化を積極的に捉えられたい。また、グローバリズムとナショナリズムが交錯するこの時代に、日本が育んできた数々の文化をどう継承・活用すべきか、という広い視点からも捉えられたい。</p>				
授業内容	<p>日本という国家や日本の民族・文化は、有史以前からも含めて、長い年月を経て段階的に形成されてきている。明確にわかっていない歴史もある。</p> <p>授業全体として、日本に住んだ人々により、文化が多様に作られ、次第に統合されてきたあゆみを、主な歴史・文化とその流れを示すことにより捉えることとする。歴史・文化の日本的特色も明確にしたい。</p> <p>古代以来の中華帝国文明、近世伝来のキリシタン文化（南蛮文化）、幕末・近代以降のヨーロッパ文明が、日本の文化に影響を与えたことを示し、日本と外来文化との関わりを示す。</p> <p>また、過去に始まった文化が、現在の私たちの生活にも関わっていることも極力示し、日本・日本人に対する理解を深められるように留意する。</p> <p>なお、映像も、理解への手助けとして活用する。</p> <p>最終回には、日本の歴史・文化の継承・活用を考えるディスカッション（アクティブラーニングの1つ）の場を設け、一方的な講義だけに終わらないようにする。</p>				
到達目標	<p>日本に住んだ人々により、文化が多様に作られ、次第に統合されてきたあゆみを理解する。</p> <p>古代以来の中華帝国文明、近世伝来のキリシタン文化（南蛮文化）、幕末・近代以降のヨーロッパ文明が、日本の文化に影響を与えたことを理解し、日本と外来文化との関わりを理解する。</p> <p>過去に生まれた日本の文化と、現在の私たちの社会・文化・生活と関わっていることを理解し、日本・日本人に対する理解を深める。</p> <p>最終的には、①日本の歴史・文化で誇れること、②自分が外国・外国人との関係を支える為に大切にしたい日本文化、③今後作りたい日本文化、に対して明確な意見をもてるようにしたい。</p>				
ディプロマポリシーとの関連性	ディプロマポリシー<DP1-（4）>人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している、に対応。				
授業形態	基本的には講義形式で行うが、事前学習・事後学習で作成したレポート等を通しての意見交換も行う。最終回は、全員でのディスカッション（アクティブラーニングの1つ）を実践する。				
事前・事後学習の所要時間	各授業毎に、事前学習2時間、事後学習2時間（合計60時間）を必要とする。				
テキスト	配付資料。				
評価方法	出席3分の2以上を前提に、事前学習・事後学習レポートの数、事前学習・事後学習レポートの内容、授業参加態度、により総合的に評価する。				
評価基準	<p>&lt;第14回目提出のレポート、授業参加態度、による評価&gt;</p> <p>事前学習・事後学習レポートの数（全部そろって始めて10点。休んだ回の事後学習・提出必要レポートは、その回のプリントを読んで考察したものでよいが、公欠の場合はそのことも明記）、事前学習・事後学習レポートの内容（90点。授業内容を理解し、歴史・文化に対する深い認識をもてたかを見る）、授業参加態度（授業内容に関する意見発表や質問、最終回ディスカッションでの発表は、1度につき+3点。授業に関係のない作業、私語などは、1度につき-5点。理由告げずの途中退席は、1度につき-20点）。</p> <p>&lt;第14回目提出のレポートを公欠等で未提出の者&gt;</p> <p>事前学習・事後学習レポートを第15回授業最初に提出。上記の評価基準に準ずる。</p> <p>&lt;第14回目提出のレポートを公欠等以外で未提出の者&gt;</p> <p>事前学習・事後学習レポートを第15回授業最初に提出。上記の評価基準に準ずるが、評価はワンランク落ちる。</p>				

試験・レポート等のフィードバック	第14回事前学習で作成したレポート（他のレポートと内容的に関わる）の内容に関して、第15回に全員でディスカッションをし、教員がコメントを加える。
注意事項及び履修条件	重要なことは、シラバスと、配付資料（計3回）、などにより明確に伝えますが、特に評価方法、評価基準、レポートに関する指示、等はよく理解・把握してください。

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	漠然とした考えでよいが、「日本人とは何か-受講前に抱いているイメージ」（A 4 縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成し、第1回目授業に持参（それをみながら第1回目授業を聞く。提出しなくてよい）。
授業内容	第1回 歴史、文化、日本人、日本。日本の精神の流れ まず、授業全体の概要を説明する。次に、歴史、文化、日本人、日本のそれぞれについて説明する。さらに、日本の歴史・文化を捉える一視点として、日本の精神を捉える。ここでは、古代から今日に至るまでの、日本の精神の流れの概観を行う。
事後学習	「第1回 歴史、文化、日本人、日本。日本の精神の流れ」の授業の内容についての感想（A 4 縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。事前学習・事後学習の提出物は、パソコン作成でよいが、他の学生のもののコピーを絶対にしないこと。休んだ回の事後学習・提出必要レポートは、その回のプリントを読んで考察したものでよいが、公欠の場合はそのことも明記。
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>○『全集 日本の歴史』全16巻・別巻1、小学館。</li> <li>○大濱徹也（2005）『講談 日本通史』同成社。</li> <li>○清水正之（2008）『日本の思想』放送大学教育振興会。</li> <li>○田中英道（2012）『日本の歴史 本当は何かすごいのか』育鵬社。</li> <li>○武光誠（2014）『日本の古代史 本当は何かすごいのか』育鵬社。他</li> </ul>

第2回	
事前学習	「第2回 旧石器時代の磨製石器、縄文文化の再評価、弥生時代」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	第2回 旧石器時代の磨製石器、縄文文化の再評価、弥生時代 旧石器時代の磨製石器に関しては、まず、日本の旧石器時代の磨製石器が世界最古であることから話を始めて、日本人のものづくり文化を考察する。 縄文文化の再評価に関しては、これまで縄文文化は、原始的であるとか世界の四大文明に比べて遅れているなどの捉え方をされる傾向があったが、その捉え方にとどまらない新たな縄文文化の捉え方を紹介する。また、近年、縄文時代の縄文遺跡群を日本固有の優れた文化として、世界遺産登録にしようとする動きが出てきて、2013(平成25)年7月現在、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」が、日本の世界遺産暫定一覧表記載資産となっていることを示す。 弥生時代に関しては、まず、弥生人の祖霊信仰について説明する。次に、弥生時代においてクニが生まれたと思われる頃の危うい存立基盤のクニ（小国連合）である邪馬台国を捉える。邪馬台国の卑弥呼が行った鬼道についても言及する。最後に、ヤマト王権誕生について言及する。
事後学習	「縄文文化の再評価について感じたこと」（A 4 縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>○NHK、NHKスペシャル「アジア巨大遺跡 第4集 縄文 奇跡の大集落」2015.11.8放送。</li> <li>○NHK教育テレビジョン さかのぼり日本史「こうして“クニ”が生まれた 第1回 『卑弥呼の外交戦略』2013.3.19放送。</li> <li>○動物考古学者 国立歴史民俗博物館考古研究部助教授西本豊弘による「At home 教授対談シリーズ こだわりアカデミー」の「縄文人の食生活」（1995年6月号掲載）。</li> <li>○安本美典（1972）『卑弥呼の謎』講談社（講談社新書）。他</li> </ul>

第3回	
事前学習	「第3回 奈良時代に作られた『古事記』・『日本書紀』とそこからみる大和朝廷について」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	第3回 奈良時代に作られた『古事記』・『日本書紀』とそこからみる大和朝廷について

	<p>まず、古事記・日本書紀とは何か説明する。次に、古事記・日本書紀における神代の話をみていく。次に、古事記・日本書紀からみる大和朝廷誕生をみる。</p> <p>この後、古事記・日本書紀の行間から日本の文化を読み取ることを試みる。次に、首長霊信仰によって日本統一をなし遂げた大和朝廷を説明する。次に、大和朝廷に対する2つの見方を紹介する。次に、大和朝廷中心の歴史が作られたことによる日本の文化を考察する。最後に、補論として、古代国家の天武天皇あたりから米が重要な意味をもってきていることについて指摘する。</p>
事後学習	「大和朝廷中心の歴史が作られたことに対する意見」（A 4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記。）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	<p>◎NHK、BS歴史館「古代史ミステリー(1) 古事記～国家統一の物語～」2013.7.11放送。</p> <p>○NHK、BS歴史館「シリーズ 日本のフィクサー(2) 『藤原氏 日本の権力構造のルーツ』」2013.12.12放送。</p> <p>○NHK、NHKスペシャル「二つの遷宮 伊勢と出雲のミステリー」2014.1.4放送。</p> <p>○山口佳紀・神野志隆光（1997）『新編日本古典文学全集1. 古事記』小学館。</p> <p>○遠山美都男（2001）『日本書紀はなにを隠してきたか』洋泉社（新書y）。</p> <p>○神話学者・学習院大学文学部教授吉田敦彦による「At home 教授対談シリーズ こだわりアカデミー」の「神話が明かす人類の歴史」（2000年10月号掲載）。</p> <p>○歴史学者・明治学院大学一般教育部助教授武光誠による「At home 教授対談シリーズ こだわりアカデミー」の「弥生人の祖先霊信仰」（1991年12月号掲載）。</p> <p>○国士舘大学21世紀アジア学部教授原田信男による「At home 教授対談シリーズ こだわりアカデミー」の「米と共に歩んだ日本の歴史」（2014年4月号掲載）。他</p>

## 第4回

事前学習	「第4回 仏教公伝とその影響」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	<p>第4回 仏教公伝とその影響</p> <p>まず、仏教公伝（一般的に538年）の状況を説明する。次に、仏教公伝が日本に与えたインパクトを考える。次に、古来の神道と新しく入ってきた仏教が大きくぶつからなかった理由を説明する。次に、仏教からも影響を受けた聖徳太子の十七条憲法をみて、和の精神について考える。最後に、聖徳太子の法隆寺とパルテノン神殿との比較をし、廃墟となったパルテノン神殿に対して、まだ活用され日本人の心に響いている法隆寺の状況を指摘する。</p>
事後学習	「日本人の和の精神について」（A 4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	<p>◎NHK、BS歴史館「シリーズ 日本のインパクト(2) 仏教伝来～古代ニッポンの文明開化!？」2013.11.21放送。</p> <p>○石田尚豊（1997）『聖徳太子事典』柏書房。</p> <p>○NHK、名作選 ハイビジョン特集「法隆寺（前編） 秘められた聖徳太子の夢」2014.3.31放送。</p> <p>○NHK、名作選 ハイビジョン特集「法隆寺（後編） 守り継がれた奇跡の伽藍（がらん）」2014.4.9放送。</p> <p>○NHK、名作選 ハイビジョンスペシャル「秘宝復元～法隆寺・聖徳太子の錦～」2014.4.10放送。他</p>

## 第5回

事前学習	「第5回 中華帝国文明と日本との関わり」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	<p>第5回 中華帝国文明と日本との関わり</p> <p>まず、遣隋使、遣唐使について説明する。次に、遣隋使、遣唐使等を通して日本に影響を及ぼした中華帝国文明を説明する。次に、中華帝国文明の重要な要素としての華夷思想・中華思想とは何か、その本質を知る。</p> <p>さらに、国際教養大学教授田中英道による「遣唐使より遣日使の方が多かった」ことの指摘などを通して、日本が中華帝国文明から一方的な影響を受けたとすることに対する疑問を提出する。次に、日本の中にも日本中華思想があるとする見方を紹介する。</p> <p>最後に、現在における中国と日本との交流をどうしたらよいかを考える。</p>
事後学習	「『中国文明の謎 第3集 始皇帝“中華”帝国への野望』のDVDを見て、中国と日本はどう関わらべきか」（A 4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	<p>◎NHK、NHKスペシャル「中国文明の謎 第3集 始皇帝“中華”帝国への野望」2012.12.2放送。</p> <p>○前田寿紀(2014.3)「報徳思想・報徳仕法の内在論理からみた幕末・維新(2)」、『淑徳大学研究紀要（総合福祉学部・コミュニティ政策学部）』淑徳大学。</p> <p>○国際教養大学教授田中英道「遣唐使より遣日使の方が多かった」（URL</p>

	<a href="http://www.geocities.jp/shonan_fuminokai/siryoku/9-nippon.pdf">http://www.geocities.jp/shonan_fuminokai/siryoku/9-nippon.pdf</a> （平成26年3月31日）。他
第6回	
事前学習	「第6回 国風文化」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	第6回 国風文化 まず、平安時代に、日本が中華帝国の華夷秩序から離脱して、自立へ向かった時の文化である国風文化（「国風（くにぶり）」を大切にす文化）を捉え、国風文化の数々を味わう。特に、仮名文字の発達による文化の大きな進展を知る。また、日本人による浄土へのあこがれをみる。次に、淑徳大学と浄土との関係について考える。最後に、現在の文化の中にも受け継がれている国風文化をまとめる。
事後学習	「授業中のいずれかのDVDを見ての感想」（A 4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	◎前田寿紀(1998.3)「長谷川良信における大学拡張・大学セツルメントに関する考察」、大乗淑徳学園 長谷川仏教文化研究所年報』第22号。 ◎NHK、新日本風土記「京都 すぐそばに源氏物語」2014.4.11放送。 ◎テレビ朝日、「お坊さんバラエティ ぶっちゃけ寺」2015.5.9放送。 ○NHK、おはなしのくにクラシック「源氏物語（紫式部）」2013.11.18放送。 ○TV TOKYO、美の巨人たち「日本の国宝建築シリーズ”藤原清衡『中尊寺・金色堂』」2012.8.18放送。他
第7回	
事前学習	「第7回 鎌倉新仏教、室町文化」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	第7回 鎌倉新仏教、室町文化 鎌倉時代に関しては、まず、鎌倉新仏教とその特徴について解説する。次に、日本の仏像に関してみていく。次に、鎌倉時代に誕生したと思われる日本的な葬式仏教を考察する。後の江戸時代になると、宗門別人帳により、全ての日本人は仏教徒になるが、そのあたりから続いていると思われる現在の家族の宗派についてみる。次に、仏教の現在の生活への浸透を考察する。最後に、仏教の価値観と近代以降の考え方と合わない側面があるという難しい問題も考える。 室町文化に関しては、まず、北山文化（3代将軍足利義満の頃）と東山文化（8代将軍足利義政<義満の孫>の頃）について解説する。次に、応仁の乱により、東山文化が花開き、地方にも伝搬した様子（例、小京都づくり）も捉える。最後に、現在も残る室町文化（書院造、お伽草子、盆踊り、一日三食、連歌、茶の湯、能、生け花、など）について考える。
事後学習	「『シリーズ 日本の転換点(1) 京都炎上！応仁の乱』のDVDを見ての感想」（A 4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	◎NHK、BS歴史館「シリーズ 日本の転換点(1) 京都炎上！応仁の乱」2013.10.10放送。 ○NHK、歴史秘話ヒストリア「人はみな、救われるべきもの-法然と親鸞探究の道-」2011.6.15放送。 ○山形大学人文学部教授松尾剛次による「At home 教授対談シリーズ こだわりアカデミー」の「時代とともに変る『仏教＝葬式』のイメージ」（2012年2月号掲載）。他
第8回	
事前学習	「第8回 武士道」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	第8回 武士道 まず、近世における武士道、明治時代以降の武士道の解釈、切腹、などについて説明する。 次に、武士や近代以降に武士の影響を受けたと思われる軍人の発言を考察する。次に、現在も使用される武士（道）に関する言葉を捉える。最後に、現在における武士やその周辺に対する人気について考察する。
事後学習	「魅かれる武士・武將とその理由。魅かれる武士・武將がいけない場合はその理由」か、「日本の歴史において武士政権の時代が長く続いたことは、現在の文化にとってよかったか悪かったか」のいずれかを選択（A 4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	◎前田寿紀(2014.3)「報徳思想・報徳仕法の内在論理からみた幕末・維新(2)」、『淑徳大学研究紀要（総合福祉学部・コミュニティ政策学部）』淑徳大学。

	○新渡戸稲造、矢内原忠雄訳（1938）『武士道』岩波書店（岩波文庫）。他
第9回	
事前学習	「第9回 キリシタン文化（南蛮文化）、桃山文化」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	第9回 キリシタン文化（南蛮文化）、桃山文化 キリシタン文化（南蛮文化）に関しては、まず、キリスト教伝来と日本社会の状況を捉える。次に、日本の人々の心を捉えたキリスト教の基本的な事項を理解する。次に、日本におけるキリスト教の扱いの歴史を考察する。最後に、南蛮文化の現在の日常生活への浸透を、南蛮菓子、日本語になったポルトガル語、使われているスペイン語、などの観点から捉える。 “天下布武”を掲げ、国内再統一を目指した織田信長と、その後継者として国内統一を実現した豊臣秀吉（「ミスター桃山」とも言われる）の時期を安土桃山時代（2人の居城にちなんで命名）と言う。その時代の文化を桃山文化と言う。この文化が、まず、大名や大商人の気風を反映した豪華で雄大で新鮮味にあふれている点を解説する。次に、人間味があるものも多い為か、現在でも人気があることを理解する。
事後学習	「日本が2世紀以上にわたりキリスト教を禁教したことをどう考えるか」（A4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	○テレビ東京、美の巨人たち「永徳vs等伯『唐獅子図屏風 松林図屏風』 絵筆で臨んだ天下取りの闘い」2016.6.4放送。 ○BS朝日、「日本の城紀行 姫路城編」2011.5.12放送。 ○NHK、BS歴史館「千利休 天下統一の陰で」2013.5.9放送。 ○BS JAPAN、美の巨人たち「狩野永徳『洛中洛外図屏風』」2013.6.26放送。 ○テレビ東京、137億年の物語「キリスト教を伝えたザビエルの物語」2014.8.9放送。他
第10回	
事前学習	「第10回 江戸時代の元禄文化・化政文化、江戸の歳時」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	第10回 江戸時代の元禄文化・化政文化、江戸の歳時 徳川幕府の時代でも、元禄時代になってくると、次第に平和な世になってくる。まず、平和で安定した時代の上で5代将軍徳川綱吉の頃に主に京都・大坂などの上方を中心に成熟した元禄文化を考察する。次に、文化・文政期（11代将軍徳川家斉の頃）を中心とする江戸時代後期（化政時代）に発展した町人文化である化政文化を考察する。 江戸の歳時に関しては、江戸時代の歳時を知り、現代への継承を理解する。
事後学習	「元禄文化、化政文化の中で私が好きなものとその理由」（A4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	◎NHK、BSプレミアム「若冲ミラクルワールド決定版 驚異の光の絵師」2012.1.2放送。 ◎BS-TBS、謎解き 江戸のスズメ『江戸の歳時記』2013.12.30放送。 ○BS-TBS、謎解き 江戸のスズメ『江戸の歳時記 春夏編』2013.5.12放送。 ○BS-TBS、謎解き 江戸のスズメ『江戸の歳時記 秋編』2015.10.27放送。 ○BS JAPAN、美の巨人たち「葛飾北斎『富嶽三十六景・神奈川沖浪裏』」2013.1.5放送。 ○NHK、日曜美術館「世紀の大発見！歌麿 幻の大作」2014.4.13放送。 ○NHK、日曜美術館「夢の宗達 傑作10選」2014.4.20放送。 ○NHK、日曜美術館「世界を驚かせた北斎漫画」2014.5.4放送。 ○NHK、BS歴史館「江戸のスーパー日本人(1) 関孝和 世界水準の“和算”を創り出した男」2013.6.20放送。 ○NHK、BS歴史館「江戸のスーパー日本人(2) 葛飾北斎 富士山を世界遺産にした男」2013.6.27放送。他 ○BS JAPAN、美の巨人たち「尾形光琳 国宝『紅白梅図屏風』春を告げる天才絵師の最高傑作!」2017.2.11放送。他
第11回	
事前学習	「第11回 江戸時代の教育機関と江戸後期の蘭学熱、ジャポニスム（日本趣味・日本心酔）」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	第11回 江戸時代の教育機関と江戸後期の蘭学熱、ジャポニスム（日本趣味・日本心酔） 江戸時代の教育機関と江戸後期の蘭学熱に関しては、まず、江戸時代の教育機関として、「昌平

	<p>鬢」、「藩校」、「郷校」、「教諭所」、「心学舎」、「私塾」、「家塾」、「寺子屋」などがあり、それらによりすでに江戸時代からわが国の教育水準が高かったことを示す。幕末の蘭学熱に関しては、まず幕末に蘭学熱が興った背景を示す。次に、蘭学塾の象山書院（江戸、佐久間象山）、鳩居堂（江戸、大村益次郎）、慶應義塾（江戸、福澤諭吉）、適塾（大坂、緒方洪庵）、順天堂（佐倉、佐藤泰然）、咸宜園（豊後国日田・大坂・江戸、広瀬淡窓・広瀬旭荘。漢学も）、西洋医学塾の鳴滝塾（長崎、シーボルト）など、現在まで続くもの、著名な学者指導のもの、優秀な人材を多数輩出したもの、短い期間でも後世に影響を与えたもの、などの例を示す。最後に、幕末の蘭学熱の意義を考える。</p> <p>ジャポニスム（日本趣味・日本心酔）に関しては、まず、ジャポニスムの意味、幕末からの万国博覧会の参加、西洋各国におけるジャポニスムの様子等を解説する。次に、現在も興っているジャポニスム、「富士山」の世界文化遺産登録（西洋人の美意識にふれた葛飾北斎らの浮世絵が関わっているとされる）、「和食」のユネスコ無形文化遺産登録、などにも言及する。</p>
事後学習	「世界に認められている日本の文化を取り上げて考察」（A 4 縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	<p>◎前田寿紀(2014.3)「報徳思想・報徳仕法の内在論理からみた幕末・維新(2)」、『淑徳大学研究紀要（総合福祉学部・コミュニティ政策学部）』淑徳大学。</p> <p>◎BS JAPAN、美の巨人たち「歌川広重『大はしあたけの夕立』」2014.8.2 放送。</p> <p>◎NHK、日曜美術館 アートシーン「特別編“ボストン美術館－華麗なるジャポニスム展”」2014.7.20放送。</p> <p>◎BS JAPAN、美の巨人たち「葛飾北斎『富嶽三十六景・神奈川沖浪裏』」2013.1.5 放送。</p> <p>◎NHK、BS歴史館「江戸のスーパー日本人(2) 葛飾北斎 富士山を世界遺産にした男」2013.6.27放送。</p> <p>◎NHK、NHKスペシャル「無形文化遺産 和食」2014.4.18放送。</p> <p>◎NHK、日曜美術館 アートシーン「“ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉”展 ほか」2016.3.13放送。他</p>
第12回	
事前学習	「第12回 助ける文化」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	<p>第12回 助ける文化</p> <p>幕末に活躍した二宮尊徳に関しては、青少年時代のエピソードが国定教科書等で伝えられ知られてきたが、実は成人になってからの活躍がはなはだしく、特に飢饉・飢餓の時に人々を餓死させずに助けたことは特筆に値する。ここでは、二宮尊徳の報徳思想・報徳仕法の内在論理を捉え、助ける文化について考察する。</p> <p>また、トルコの船助け（今もトルコから感謝されている）をした日本人、第二次世界大戦中にビザ発給により約6千人のユダヤ人を国外脱出させ命を助けた杉原千畝、東北震災後に助け合いをしがんばる日本人、などの事例について着目し、全員で考察する。</p>
事後学習	「日本人が外国人または外国の組織を助けた歴史的事実（授業で扱ったもの以外）を1つ取り上げて考察」（A 4 縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	<p>◎前田寿紀（2009）『未来志向の生涯学習』北樹出版。</p> <p>◎NHK、その時歴史は動いた「二宮金次郎 天保の大飢饉を救う」2005.9.14放送。</p> <p>◎TBS、世界ふしぎ発見！「戦後70周年企画！6000人の命を救った日本人外交官感動秘話・衝撃裏ではスパイ活動も!?」2015.7.4放送。</p> <p>◎前田寿紀（1995）「生涯学習都市掛川におけるまちづくりと報徳」、日本生涯教育学会『日本生涯教育学会年報』第16号。</p> <p>◎前田寿紀（2002）「二宮尊徳の報徳思想・報徳仕法の内在論理と近代日本における報徳社によるその継承」、淑徳大学社会学部『淑徳大学社会学部研究紀要』第36号。</p> <p>◎前田寿紀（2006）「二宮尊徳の報徳思想・報徳仕法の原理・内在論理の現代的応用・活用に関する考察」、『報徳学』第3号、国際二宮尊徳思想学会。</p> <p>◎「杉原千畝記念館」発行の資料。他</p>
第13回	
事前学習	「第13回 国民国家の創設と欧米文化の流入」を読み、わかりづらい用語は調べておく。
授業内容	<p>第13回 国民国家の創設と欧米文化の流入</p> <p>明治期、国家の住民を、国民にまとめあげる際に、民族としてのアイデンティティを形成する為に行なったことを、国民国家の創設という観点から捉える。特に、神武天皇の昔に戻り、そこから日本国を記述し、「一君万民」の日本国民を作ろうとした点に言及する。</p> <p>次に、日本が近代化した事実を認めてもらう為に採った欧化政策、欧化主義の明暗を考察する。欧米文明の負の側面とその受け入れの状況を考察する。さらに、欧化政策、欧化主義は、日本人の思考様</p>

	式・行動様式を変えたか否かを考察する。
事後学習	「明治期における国民国家創設の長所・短所」（A 4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成・第14回授業最後に提出。
参考文献	◎前田寿紀(2014.3)「報徳思想・報徳仕法の内在論理からみた幕末・維新(2)」、『淑徳大学研究紀要（総合福祉学部・コミュニティ政策学部）』淑徳大学。 ◎NHK、10min.ボックス（日本史）「文明開化～新しい文化～」2014.3.28放送。他

## 第14回

事前学習	「第14回 世界大戦を経験した日本」を読み、わかりづらい用語は調べておく。「①第13回目までの授業内容全体から、日本の歴史・文化で誇れること。②自分が外国・外国人との関係を支える為に大切にしたい日本文化。③今後作りたい日本文化。」（A 4縦方向横書き1200字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成、第1回から第13回までの事後学習とあわせて第14回授業最後に提出（全部をホチキスどめ）。これら（その一部でも）の提出が、公欠等以外の理由で第15回目になると評価が1ランク落ちる（例、AがBになる）ので、要注意。第15回目が最終提出回であり、再試・追試はない。
授業内容	第14回 世界大戦を経験した日本 日本は、近代以降複数の戦争を遂行した。そのことによる矛盾は数多く挙げられる。太平洋戦争時に、全国から多くの人が集まり、日本の高度な技術を結集して作った戦艦大和と、戦艦大和が沈没させられ呉への大空襲が行われた状況、戦艦大和とその技術を現在の平和教育や新たな技術開発・発展につなげていこうとしている呉市や大和ミュージアムの現在の様子、をDVDを見て知り、今後の外国・外国人との関係を支える日本文化を考える一助とする。
事後学習	「世界大戦を経験した日本に対し、①どう思う、②良い点、悪い点はあるか、③戦争の原因は、④（歴史にたら・ればはないが）当時日本はどうしたらよかったか、⑤今後どうすればよいか」（A 4縦方向横書き500字以上、縦横の字数設定は各自で行い書いた字数を明記。学生証番号・氏名を明記）を作成、第15回目授業に持参（第15回目授業内でそれをみながら意見発表をする。提出しなくてよい）。
参考文献	◎前田寿紀（2006）『戦中・戦後日語増産史研究』学文社。 ◎大和ミュージアム公式DVD『大和、新たなる航海図』。他

## 第15回

事前学習	「①第13回目までの授業内容全体から、日本の歴史・文化で誇れること。②自分が外国・外国人との関係を支える為に大切にしたい日本文化。③今後作りたい日本文化。」のディスカッションができるように準備する。
授業内容	第15回 ジャパンブランドをもつ日本、ディスカッション まず、日本がもっているジャパンブランドとも言える日本式的生活インフラの数々を知り、今後それを海外との関係でどのように活用していくべきかを考察する。 次に、「世界大戦を経験した日本をどう考えるか」の意見発表をしてもらう。 次に、日本の歴史・文化の継承・活用を考えるディスカッションをする。
事後学習	各自、授業全体を総括する。
参考文献	◎NHK、NHKスペシャル「ジャパンブランド(2) “日本式”生活インフラを輸出せよ」2014.1.12放送。60分 ◎NHK、NHKスペシャル「メイド・イン・ジャパンⅡ(2) 新成長戦略 国家の攻防」2013.5.12放送。他

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;DP-1&gt; 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p>&lt;DP1-(1)&gt; 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(2)&gt; 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(3)&gt; 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(4)&gt; 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	--

